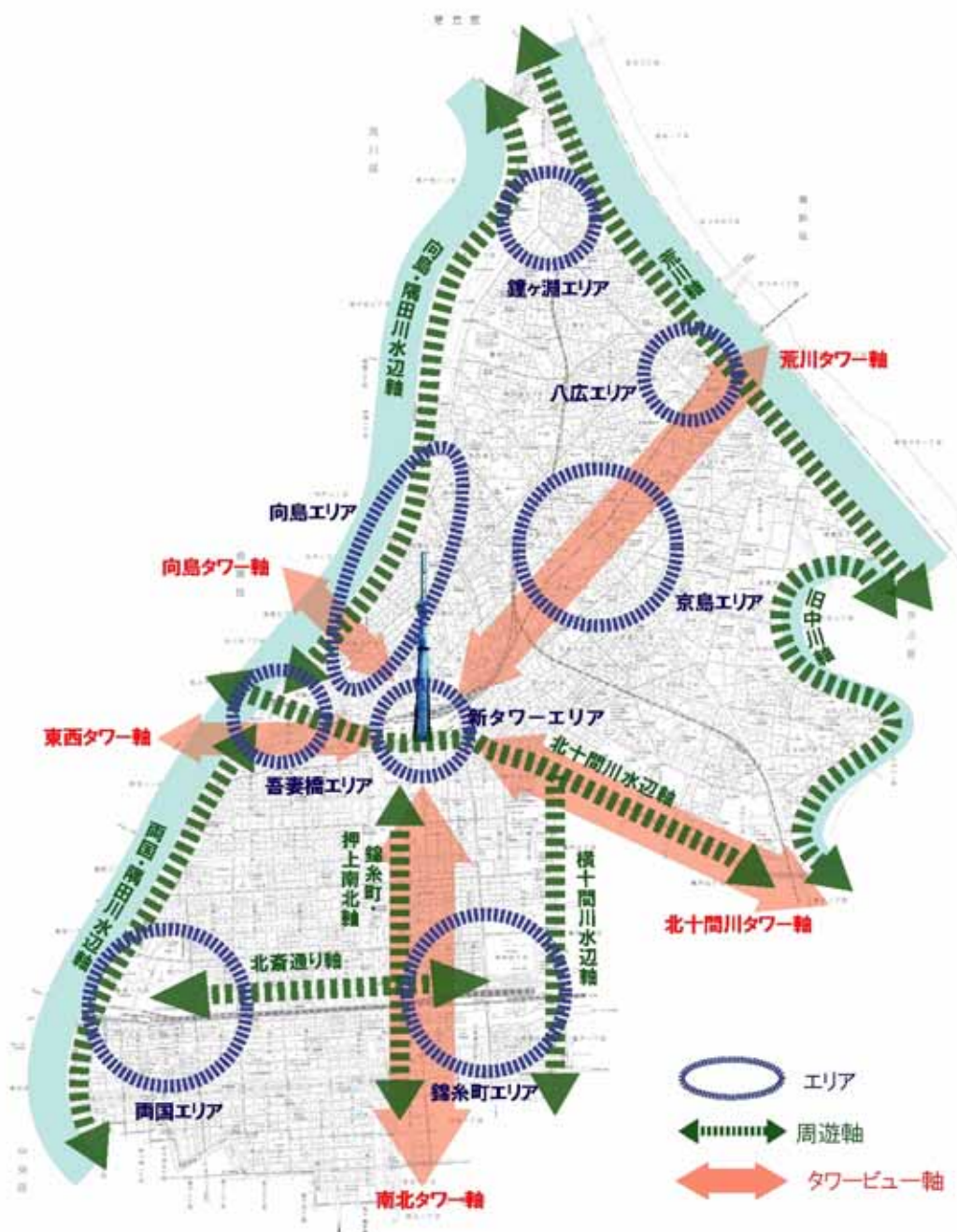


第2章 基本戦略 拠点と軸の観光ネットワーク

墨田区の観光振興の基本戦略として、「観光拠点エリア」及びそれをつなぐ「観光軸」の形成によって、「国際観光都市すみだ」にふさわしい新しい観光ネットワークの構築に取り組みます。

すなわち、都市構造の基本的要素である「拠点」と「軸」という要素に着目し、その基盤整備を戦略的、分野横断的に推進することを観光振興の基本戦略とします。

国際観光都市すみだ・ネットワーク図



1 観光拠点エリアの形成

墨田区では、観光都市づくりを進める対象として、主要な観光拠点を中心に一定の広がりをもった「観光拠点エリア」を定めます。

観光拠点エリアを定めるにあたり、区内における観光資源の分布、交通ネットワークの状況、住民の暮らしの広がり、来街者の動向、そして地域の歴史的文化的特性などを総合的に勘案したうえで、次の8つのエリアとします。

墨田区の観光拠点エリアと観光都市づくりのコンセプト

両国エリア.....江戸以来の伝統文化を世界に発信するまち

錦糸町エリア.....音楽、ショッピングモール、エスニックフードなど、多彩な文化に出会えるターミナルのまち

新タワーエリア.....都市文化が創成され国内外から訪れる人々が交流するまち

吾妻橋エリア.....浅草から区内各所へのゲートウェイ、水陸交通の結節するまち

向島エリア.....タワーと隣接し、江戸から昭和の風情を体感できるまち

京島エリア.....昭和レトロの下町路地空間を随所に楽しめる散策のまち

鐘ヶ淵エリア.....梅若伝説に出会い、都市防災が体感できるまち

八広エリア.....自然の風を満喫できる荒川のゲートポイント



すみだ観光案内所（吾妻橋）

2 観光軸の形成

(1) 周遊軸の形成

観光拠点エリア間などの回遊性を高めるため、「周遊軸」を形成します。

これらの周遊軸に沿って観光案内機能を充実させるとともに、快適に移動するための交通ネットワークを整備します。周遊軸の周辺では、各々が結んでいる観光拠点エリアの観光特性を活かした観光まちづくりを、個性豊かに推進します。

墨田区の周遊軸

北 斎 通 り 軸	(両 国 エ リ ア 錦 糸 町 エ リ ア)
両 国 ・ 隅 田 川 水 辺 軸	(両 国 エ リ ア 吾 妻 橋 エ リ ア)
向 島 ・ 隅 田 川 水 辺 軸	(吾 妻 橋 エ リ ア 向 島 エ リ ア 鐘 ヶ 淵 エ リ ア)
錦 糸 町 ・ 押 上 南 北 軸	(錦 糸 町 エ リ ア タ ワ ー エ リ ア)
北 十 間 川 ・ 横 十 間 川 水 辺 軸	(北 十 間 川 ・ 横 十 間 川 と そ の 周 辺 の 活 用)
荒 川 軸	(荒 川 河 川 敷 と そ の 周 辺 の 活 用)
旧 中 川 軸	(旧 中 川 河 川 敷 と そ の 周 辺 の 活 用)



隅田川親水テラス

(2) タワービュー軸の形成

タワーの眺望を楽しめるスポットや通りを「タワービュー軸」とします。

タワービュー軸周辺の地域住民と一体となったまちづくりを進めるとともに、昼・夜を通じて美しいタワーの景観を楽しめるスポット整備を進めます。また、街歩きをしながらタワービューを鑑賞できるように、タワーエリアから放射状に伸びる主要道路の歩行空間を整備します。

タワービュー軸

東西タワー軸 (浅草 吾妻橋エリア タワーエリア)

南北タワー軸 (錦糸町エリア タワーエリア)

向島タワー軸 (向島エリア タワーエリア)

北十間川タワー軸 (文花・立花地区 タワーエリア)

荒川タワー軸 (八広エリア 京島エリア タワーエリア)



©東武鉄道株式会社・新東京タワー株式会社